

2026 年 8 月 20 日

[配信枚数 2 枚]

発信元

滋賀大学総務課企画・広報室

バルテス・ホールディングス株式会社

報道関係者 各位

バルテス・ホールディングス株式会社と滋賀大学が ソフトウェア品質・データサイエンス研究センターを設置

データサイエンスおよび AI 分野の教育研究を先導し、産学官連携を通じた人材育成と社会課題の解決に取り組む国立大学法人滋賀大学（滋賀県彦根市馬場 1-1-1、以下「滋賀大学」）と、ソフトウェアテスト事業を主業とする品質向上のトータルサポート企業バルテス・ホールディングス株式会社（大阪市西区阿波座 1-3-15、以下「バルテス・ホールディングス」）は、2026 年 7 月 8 日に締結した連携及び協力に関する協定に基づき、AI 時代におけるシステム開発の品質・安全性向上をテーマとした課題解決にデータサイエンスの見地から取り組むことを目的として、2026 年 8 月 20 日に滋賀大学データサイエンス・AI イノベーション研究推進センター内にソフトウェア品質・データサイエンス研究センター(Software Quality and Data Science Center)（以下、センター）を設置しました。



センターに設置されたバルテス・ホールディングス株式会社のロゴプレート

[概要]

AI をはじめとするデジタル技術の急速な進展に伴い、社会や産業界においては、AI を利用したシステム開発が一般的となり、より AI に適したデータ活用や、AI が開発したシステムの安全性や運用性をどのように担保するのが重要なテーマとなっています。本センター設置により、両者が有する専門的知見や人的・知的資源を活用しながら、AI 活用したシステムの品質を評価・担保するための品質基準の構築、及び AI によるシステム開発の安全化・効率化を図るとともに、これらに携わる高度専門人材の育成に取り組むことで、AI 時代に即したソフトウェア・システムの品質・安全性向上と新たな価値創造を目指します。

なお、本センターの研究テーマは、2026 年 7 月 8 日の連携協定発表会にて発表した以下を見込んでおります。

- ・ 確認ポイントの見極め AI
- ・ AI エージェント業務組込み
- ・ ローカル LLM を含む生成 AI 活用環境の整備
- ・ AI 機能の品質基準

社会における AI 活用が急速に拡大する中、AI を安心して使うには、品質を適切に評価・担保するための考え方や基準の整備が必要になっています。本研究を通じ、AI を「使える」だけでなく「安心して使える」社会の実現に向け、社会の信頼を支える取り組みを進めてまいります。

[関連プレスリリース]

滋賀大学とバルテス・ホールディングス株式会社が連携協定を締結

ーデータサイエンス・AI 分野で連携強化ー（2026 年 6 月 25 日発表）

https://www.shiga-u.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2026pr_20260625.pdf

<https://www.valtes-hd.co.jp/news/2026/202606251658/>

●バルテス・ホールディングス株式会社 [<https://www.valtes-hd.co.jp/>]

バルテスグループは、ソフトウェアテストをメインとした品質向上支援サービスを提供している本業界のリーディングカンパニーです。上流工程における品質コンサルティング、体系的なテストエンジニアの教育プログラムに加え、生成 AI テストツール開発・活用を通じた品質向上にも積極的に取り組んでおります。バルテス株式会社は、ソフトウェアテストに関する国際的な資格認定機関である「ISTQB」の最高位ランクである「Global Partner」に日本で初めて認定された企業です。

■設 立 2004 年 4 月 19 日

■資本金 9,000 万円

■代表者 代表取締役会長 兼 社長 田中 真史

■証券コード 4442（東京証券取引所グロース市場）

●本件に関するお問い合わせ先

滋賀大学データサイエンス・AI イノベーション研究推進センター

TEL：0749-27-1402 E-mail：ura@shiga-u.ac.jp

バルテス・ホールディングス株式会社 担当：上西、古家

TEL：03-5210-2110 E-mail：prir@valtes-hd.co.jp